



↓大きな炎をあげて燃えるヨシ原



春の風物詩

3月22日(日)、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のヨシ焼きが関係者など950人により実施されました。

渡良瀬遊水地の大部分を占めているヨシ原を焼くことで、ヨシに寄生する害虫の駆除並びに野火による周辺家屋への類焼防止、また、貴重な湿地環境の保全などを目的として実施されています。

↓ヤナギの挿し木の作業をする参加者たち



↑挿し木されたヤナギ。初夏に新しい芽がでることを願います

はつらつシルバー教室 ラジオ体操で健康づくり

3月6日(金)、中央公民館ではつらつシルバー教室が開催されました。これは、町と町老人クラブ連合会との共催事業として町老人クラブ会員を対象に平成25年度から行っているもので、クラブ会員の健康づくり・介護予防を目的としています。今回は約30人が参加し、ラジオ体操1級指導士の岩木照代さんがラジオ体操第1と第2の一つひとつの正しい運動方法とその効果を解説しました。



↑ラジオ体操で汗を流す参加者

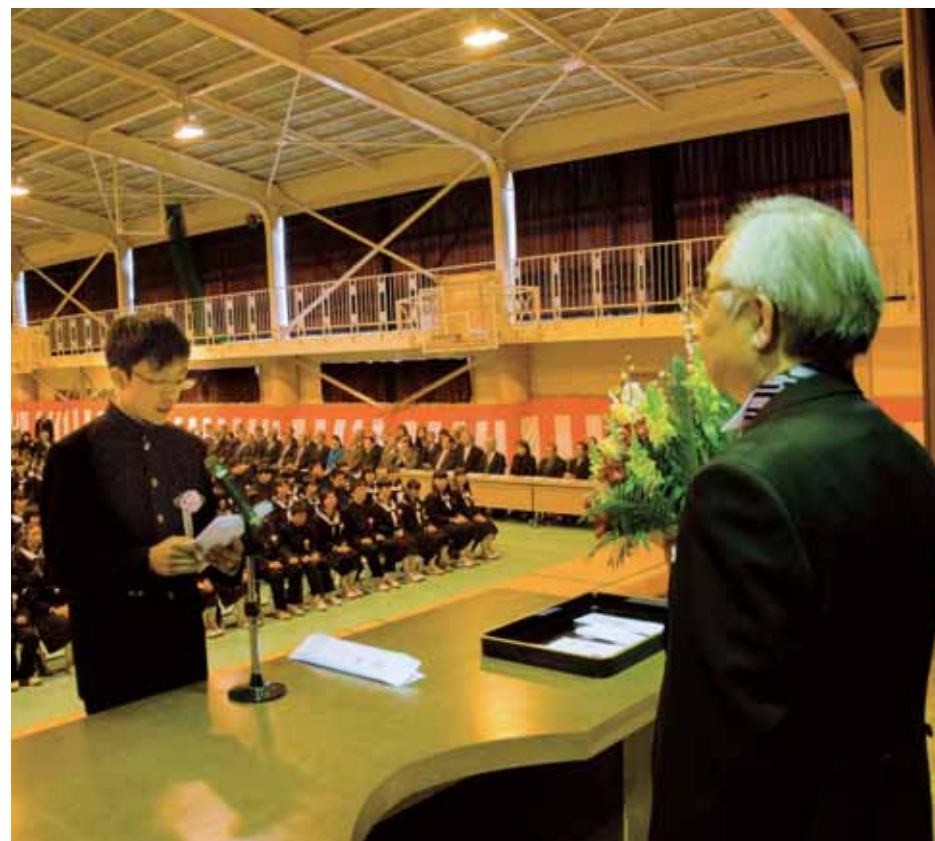
重要文化的景観 ヤナギの挿し木

2月28日(土)、谷田川の柳山でヤナギの挿し木が実施されました。これは、板倉町の文化的景観の重要な構成要素である柳山のヤナギが衰退していることを受け、柳山の景観を守るために、水場の風景を守る会と町教委が実施した事業です。この催しには約20人が参加し、参加者は植物の専門家である町の文化財調査委員の青木雅夫氏の指導を受けながらヤナギの挿し木作業を行いました。



↑ヤナギの生態について参加者に説明をする青木雅夫氏

↓卒業生の代表が石川校長に答辞を読み上げました



学 板倉中学校卒業式 びやを巣立つ

3月13日(金)、板倉中学校で卒業式が行われ、3年間の中学校生活を終えた卒業生140人が母校を巣立ちました。保護者や在校生から温かい拍手で迎えられ、石川和孝校長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。卒業生は、卒業の喜びと仲間との別れをかみしめながら、不安と期待を胸にそれぞれの進路へ進み始めました。

↓恩師に見送られ笑顔で学びやを後にしました



↑クラスの仲間と笑顔で集合写真

↓卒業生は涙を流しながら卒業式歌の合唱をしました



↑サッカー部に所属していた卒業生